

三方五湖学習

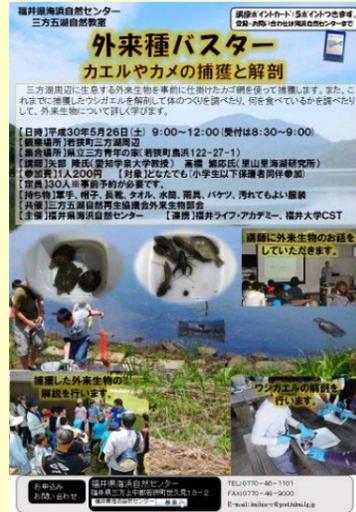
三方五湖自然教室・外来種バスター ～湖の侵入者捕獲と解剖～

福井県海浜自然センターでは、三方五湖をテーマにした環境学習プログラム“三方五湖教室”が年に数回開催されています。このプログラムでは、毎年、福井県内外の家族連れが、三方五湖と周辺地域の自然再生の取組等への理解を深めています。

平成30年5月26日には、福井県海浜自然センター主催、外来生物等対策部会共催、福井ライフ・アカデミー、福井大学CSTの連携で、三方湖周辺において外来種バスターが開催されました。この催しでは、三方湖に事前に仕掛けられたかご網を引き揚げて外来種を捕獲したり、また、これまでに捕獲されたウシ

ガエルの解剖などを体験しました。ウシガエルの解剖では、体のつくりを調べたり、何を食べているかを調べたりし、ウシガエルによる生態系への影響などを学びました。

この日は、愛知学泉大学・矢部隆教授を講師として迎え、外来種バスターに28名、ミドリガメ勉強会に20名の参加があり、専門家の話を聞きながら外来種への理解を深めました。



自然再生関連会議等開催情報(平成30年度)

- ◆湖と田んぼのつながり再生部会
 - ・平成30年4月13日…実施者打合せ
 - ・5月13日…実施者打合せ
- ◆外来生物等対策部会
 - ・4月7日…部会会議
 - ・5月28日…外来種駆除イベント
 - ※今後、秋～冬にかけて、アカミミガメ、ヒシ等の対策について検討会議を開催

三方五湖の自然とめぐみTOPICS

“濁水防止”のぼり設置(環境に優しい農法部会)

環境に優しい農法部会では、一昨年より、田植え前の水田からの代かき水流下による河川や湖への富栄養化等の影響を低減するため、代かき水(濁水)の排水防止を呼び掛けています。今年も、「ありがとう濁水防止中」の“のぼり”を美浜町、若狭町の三方五湖近くの水田脇に設置して呼びかけました。毎年、徐々に輪が広がっています。



問合せ先

- 福井県安全環境部自然環境課
〒910-8580 福井県福井市大手三丁目17番1号
TEL 0776-20-0305
- 美浜町住民環境課
〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市第25号25番地
TEL 0770-32-6703
- 若狭町環境安全課
〔三方庁舎〕
〒919-1333 福井県三方上中郡若狭町中央第1号1番地
TEL 0770-45-9126
- 若狭町歴史文化課縄文環境室
〔若狭三方縄文博物館内〕
〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1
TEL 0770-45-2270

このニュースレターは「平成30年度生物多様性保全推進交付金(環境省)」を使用しています。

三方五湖 ニュースレター



No. 16
平成30年8月1日発行



三方五湖子どもラムサールクラブ

目次

- 三方五湖子どもラムサールクラブ 1・2
- 三方五湖学習、自然再生関連会議開催状況、自然とめぐみTOPICS、三方五湖のなかまたち 3

三方五湖 子どもラムサールクラブ 始まりました!

美浜町、若狭町の小中学生を対象にした「三方五湖 子どもラムサールクラブ」が平成30年5月13日（日）の午後、若狭町リブラ若狭で発足式がありました。発足式には、子どもラムサールクラブのクラブ員11人が出席し、初めての顔合わせをしました。

子どもラムサールクラブでは、三方五湖の水辺や周囲の田んぼ、そして水源となる森を訪ねるなど、平成30年度内に合計7回のプログラムをシリーズで開催します。子どもラムサールクラブは、三方五湖自然再生協議会環境教育部会（事務局：福井県海浜自然センター）が主催で行い、各回のプログラムでは、専門の方々に講師でお世話になり、三方五湖の自然や文化を体系的に学び、そして、三方五湖を守る仲間を増やします。

プログラムを通じて、どんな学びがあるか、楽しみです！



三方五湖ラムサールクラブ発足式。クラブ員のみんな、大下会長と湖の漁業のお話を下さった吉田良三さん

第1回（5月13日（日）開催）お話し「三方五湖の今と昔」

クラブに参加する12人は、美浜町、若狭町内の小中学校から参加しています。違う学校や学年の子どもたちが参加しているので、最初はドキドキです。第1回のプログラムでは、それぞれの自己紹介、一年間の過ごし方の説明の後、三方湖で漁業を営む吉田良三

さんから「三方五湖の今と昔」のお話を伺いました。吉田さんのお話しからは、今の三方五湖ではみられない風景のことがたくさん伺えました。吉田さんが子どもの頃は、三方五湖の水はとてもきれいだったこと、いろんな魚がたくさん泳いでいたこと、そしてそれを捕って遊んだり、食べたこと。吉田さんからは、漁業で使う道具も見せていただきました。珍しい道具に、クラブ員はみんな興味津々でお話を伺いました。お話しの最後には、サプライズで三方湖で捕れたウナギも見せていただきました。

クラブ員の子供たちに、昔の水辺の風景がしっかり描かれたお話し会でした。



吉田良三さんのお話を聞きました



吉田さんのバケツから大きなウナギが!

積極的な質問もたくさんありました



第2回（6月30日（土））久々子湖の水辺観察

第2回のプログラムでは、久々子湖の水辺の生き物ものを観察しました。講師は、福井県里山里海湖研究所の宮本康研究員です。宮本研究員は、三方五湖の湖の中を潜水調査したり、三方五湖の歴史を研究されています。この日クラブ員は、まず、水辺の観察の



もんどりを慎重に取り上げるクラブ員



宮本研究員から湖の生きものを丁寧に説明いただきました



プログラム最後にはシジミ汁をいただきました。宮本研究員からはシジミの生態も詳しく説明いただきました

時の安全に関する注意点をしっかり聞きました。そして、宮本研究員からタモ網を使って水中の生きものの捕まえ方を教えていただきました。また、あらかじめ仕掛けていたもんどりも取り上げ、捕まえた魚たちを観察しました。一時間ほどで、マハゼ、ボラ、テナガエビなどたくさんの生きものが観察できました。プログラムの最後は美浜町総合体育館に戻ってふりかえりの時間。締めくくりに美味しいシジミ汁をいただき、楽しく、美味しいプログラムでした。

第3回（7月22日（日））別所川の水辺の観察

別所川は、若狭町立梅の里小学校の近くにある、三方湖に流入する小さな川です。第3回プログラムでは、福井県淡水魚研究会の松田隆喜さんに講師をお願いし、別所川にすむ魚たちを観察しました。この日も、まずは水辺の観察時の注意事項を確認して川に入りました。



みんなで魚を追い込んで捕獲できるか?!



みんなでわいわい楽しく、しばらくは魚捕りに夢中になりました

捕った魚について、松田さんから詳しい解説をいただきました

